



第85回 大阪丸高同窓会

平和をつくるためにできること

日時: 令和5年10月22日(日)

午前11時～午後3時

場所: 江坂サニーストンホテル
大阪府吹田市広芝町10-3

会費: 6,000円



「地下鉄御堂筋線7番出口より徒歩約1分」

11:00 開会
総会 (11:00～11:30)

会長挨拶
来賓挨拶
総会業務
会計報告

講演 (11:30～12:15)

満田康弘 (昭和55年卒業)
「クワイ河に虹をかけた男」の監督
満田康弘が語る永瀬隆氏の半生と
ヒューマニズム

特別出演(ビデオメッセージ)
神戸学院大学客員教授
ナディヤ・ゴラル様(ウクライナ出身)

休憩 (12:15～12:25)

懇親会 (12:25～15:00)
会員紹介、ゲーム、校歌斉唱等

15:00 閉会

ご来賓

丸亀高校同窓会会長	山内 孝茂 様
丸亀高校同窓会副会長	柴田 昌志 様
丸亀高校校長	高倉 和弘 様
丸亀高校事務局長	松田 進 様
丸亀高校事務局	白川 直美 様

映画「クワイ河に虹をかけた男」の監督 満田康弘が語る 戦争という運命に翻弄されながらも 自分の使命を全うした男の人生



満田康弘プロフィール

1961年、香川県多度津町生まれ。丸高55年卒業。

京都大学法学部卒業後、瀬戸内海放送入社。

1991年倉敷市の元陸軍通訳、永瀬隆さんと出会う。以来、20年にわたって2011年に同氏が亡くなるまで親交を持つ。

同氏が亡くなったあとも「クワイ河平和基金」の理事として同氏の意思を引き継ぐ。

著者に「クワイ河に虹をかけた男」(2011年梨の木舎)。

ドキュメンタリー映画「クワイ河に虹をかけた男」(2016年)、

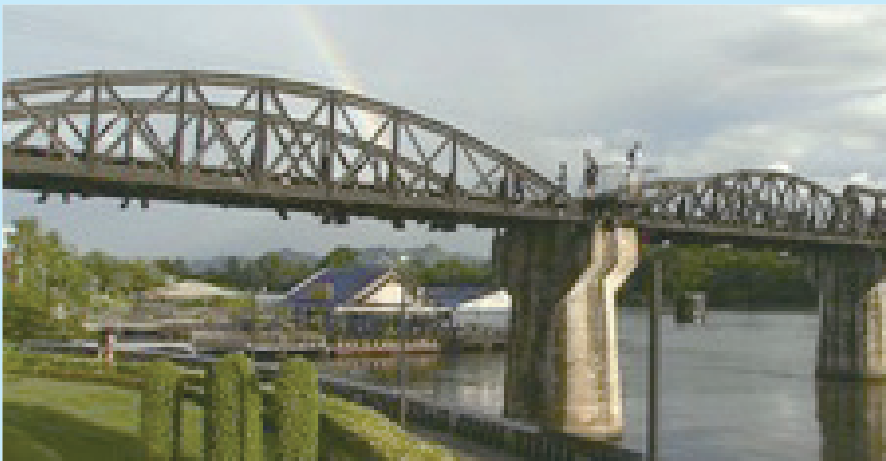
「カウラは忘れない」(2021年)発表。

クワイ河に虹をかけた男

第二次世界大戦中、日本軍がタイとビルマの間に建設した泰緬鉄道。

1年4ヶ月に渡る突貫工事で約1万3000人の連合軍捕虜と推定数万人のアジア人の犠牲者を出した。永瀬隆さんは陸軍通訳としてこの作戦に関わり、戦後一貫して犠牲者の慰霊に取り組む。

これは永瀬さんの20年に渡る半生の記録である。



「クワイ河にかかった橋」



「太平洋戦争中に建設した泰緬鉄道の鉄橋を眺めて、満面の笑みを浮かべる永瀬氏」